

029

避難所の混雑状況を可視化する 「VACAN Maps」の提供

取組主体

株式会社バカン

従業員数

70人

想定災害

全般

実施地域

全国

- マップ型リアルタイム空き情報配信サービス「VACAN Maps」によって避難所の混雑状況を可視化。令和3年12月現在、全国で約200の自治体への導入を達成している。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

災害時の避難所の混雑状況を可視化できる VACAN Maps を提供

- コロナ禍で距離の確保や密状態の回避等が求められる中、マップ上で近くの施設等の混雑状況を一覧表示できるサービス「VACAN Maps」を手掛ける株式会社バカンは、令和2年6月より、同サービスを全国の観光地や商業施設、オフィス、投票所等に提供している。
- 災害が発生した際に開設される避難所でも COVID-19 感染対策として距離の確保や体調不良者のゾーニング等が重要であり、また、各避難所の収容可能人数が従来と比べ少くなるため、一部の避難所への人の集中を避け、分散して避難することが必要になる。
- そこで同社は、令和2年8月、東京都多摩市への提供を皮切りに、多くの自治体との提携を進め、VACAN Maps の避難所への活用を推進している。令和3年12月時点で、196の自治体に導入実績がある。
- 同サービスでは、地図上で「空いています（青）」「やや混雑（黄色）」「混雑（赤）」「満（赤）」の4段階で避難所の混み具合を確認できる。避難者はアプリのダウンロードやユーザー情報の登録等を行わなくても、PC やスマートフォン等で URL にアクセスすることで各避難所の位置や混雑状況、住所や問合せ先等を閲覧できる。
- 商業施設等ではセンサーやカメラを活用して自動で混雑状況を判断するが、避難所においては担当者が実際の状況を確認しながら、リアルタイムに混雑状況をシステムに入力した内容が、アプリに即時反映される仕組みとなっている。発災時の停電やセンサー破損等のリスクを回避し、適切な情報を確実に伝えられるよう工夫をしている。

VACAN Maps 機能と特徴

【地図上一覧ページ】

マップでエリア全体の避難所の場所と混雑状況が閲覧可能です。



【避難所一覧ページ】
スマートフォンからは避難所ごとの混雑状況を一覧で閲覧可能です。



【施設個別ページ】
避難所の詳細や混雑情報以外の情報が閲覧可能です。

「VACAN Maps」の避難所での活用イメージ

2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 災害時だけでなく平時でも常時使える仕組みになっているため、導入自治体の避難訓練等でも活用されている。
- 避難所だけでなく、観光地や商業施設、自治体の窓口等の混雑も併せて可視化することで、まち全体としての機能性や利便性が向上する。

担当者の声

- 水害や地震等の災害発生時に避難所への一極集中が起きてキャパシティを超えてしまうと、住民と職員双方にとって大きなストレスになります。受入れが遅れると体力が失われ、また密になれば感染症にかかるリスクも高くなってしまいます。空き情報を可視化すれば、最寄りの空いている避難所を探して、自助努力による分散避難が可能になります。こういった行動の選択肢を VACAN を通して提供することで、リスクを軽減してもらい、安心して過ごせるまちの実現をサポートしていきたいと思えます。

問合せ先

株式会社バカン 法人番号：1010401125344
TEL：03-6327-5533 E-Mail：contact@vacancorp.com

サイト URL



動画

